

令和6年子供に関する定点調査「とうきょう こども アンケート」 検討会議（第1回）次第

日 時 令和6年1月10日（水）午前10時から12時まで
開催場所 東京都庁第二本庁舎 10階一般会議室 209

1 開会

2 議題

- （1）検討会議のスケジュール等
- （2）令和5年調査の振り返り
- （3）調査設計（調査方法等）（案）
- （4）調査項目の見直し（案）
- （5）回収率の向上策（案）

3 閉会

【配布資料】

資料1 令和6年子供に関する定点調査「とうきょう こども アンケート」
検討会議 委員名簿

資料2 令和6年子供に関する定点調査「とうきょう こども アンケート」
第1回検討会議

令和6年子供に関する定点調査
「とうきょう こども アンケート」検討会議 委員名簿

(敬称略、五十音順)

氏 名	所属・役職等	
池本 美香	株式会社日本総合研究所 上席主任研究員	外部委員
土屋 隆裕	横浜市立大学教授	
西田 淳志	公益財団法人東京都医学総合研究所 社会健康医学研究センター長	
松原 康雄	明治学院大学名誉教授	
森田 明美	東洋大学名誉教授	
渡辺 由美子	認定特定非営利活動法人キッズドア理事長	
小平 房代	東京都子供政策連携室プロジェクト推進担当部長	内部委員
石賀 裕	東京都子供政策連携室企画調整部 企画調整課長	
中島 知郎	東京都子供政策連携室企画調整部 プロジェクト推進担当課長	

令和6年子供に関する定点調査 「とうきょう こども アンケート」 第1回検討会議

2024年1月10日（水）
東京都子供政策連携室

1. スケジュール等(会議目的)

- 東京都は、子供の笑顔あふれるチルドレンファーストの社会の実現を目指し、令和5年1月30日に「こども未来アクション」を策定しました。「こども未来アクション」では、**エビデンスに基づき、子供の実情や課題を的確に把握し、子供に寄り添った子供のための実効性のある政策を練り上げ、機動的に展開していくこと**としています。
- 子供・子育て家庭を取り巻く課題は、多分野にわたり、複雑化、複合化しており、子供の日頃感じている生の声を定期的に聞き取り、分析して、実効性の高い子供政策を推進する必要があります。
このため、福祉、教育など、**従来の行政分野の枠組みに捉われることなく、子供に関する実態や意識の変化を把握**することを目的として、**令和5年度から新たに定点調査「とうきょう こども アンケート」**を実施することになりました。
定点調査の結果は多角的に分析し、課題や行政ニーズを各局と共有していきます。
- 本会議では、2回目となる調査の実施に向けて調査項目等の再精査を行うとともに、調査結果の分析について議論を行っていただきます。



チルドレンファーストの社会の実現に向けた取組

チルドレンファーストの社会 ～全ての子供の笑顔を育む～

「未来の東京」戦略

目指す2040年代の東京の姿 ビジョン
「子供の笑顔と子供を産み育てたい人」で溢れ、
家族の絆と社会が変える東京」

東京型こども基本条例

- 「子どもの権利条約」の精神にのっとり、子供を権利の主体として尊重し、
子供の権利の利益を最優先にするという基本理念を明確化。
- 子供の安全安心、遊び場、居場所、学び、意見表明、参加、権利保護
等、多岐にわたる子供政策の基本的な視点を一元的に規定

こども未来アクション

子供目線で捉え直した政策の「現在地」を、
子供との対話を通じた「継続的なバージョンアップの指針」
「こども未来アクション」を活用して、継続的に子供との対話を実施し、
子供政策をバージョンアップしていく。

子供政策の基本スタンス

子供を主体に、ステージを通じた一貫したサポートにより、
全ての子供たちの可能性を育んでいく。

- 子供を客観的でなく**主体**として捉え、生まれてから幼児期、学童期、青年期
など、ステージを通じて一貫してサポートし、誰一人取り残すことなく、全ての
子供たちの可能性を大切に育んでいく。
- エビデンスに基づき、子供の実情や抱える課題を的確に把握し、子供に寄
り添った子供のための実効性ある政策を練り上げ、機動的に展開していく。

政策展開のアプローチ

- 都政の政策全般を「子供目線」で捉え直す。
- 多様な主体と協働・連携を深め、社会全体で子供への
サポートを強化していく。
- DXの推進により、新たな時代にふさわしい取組を展開する。

「こども未来アクション」より抜粋
令和5年1月30日策定

1. スケジュール等(検討会議委員)

<外部委員>

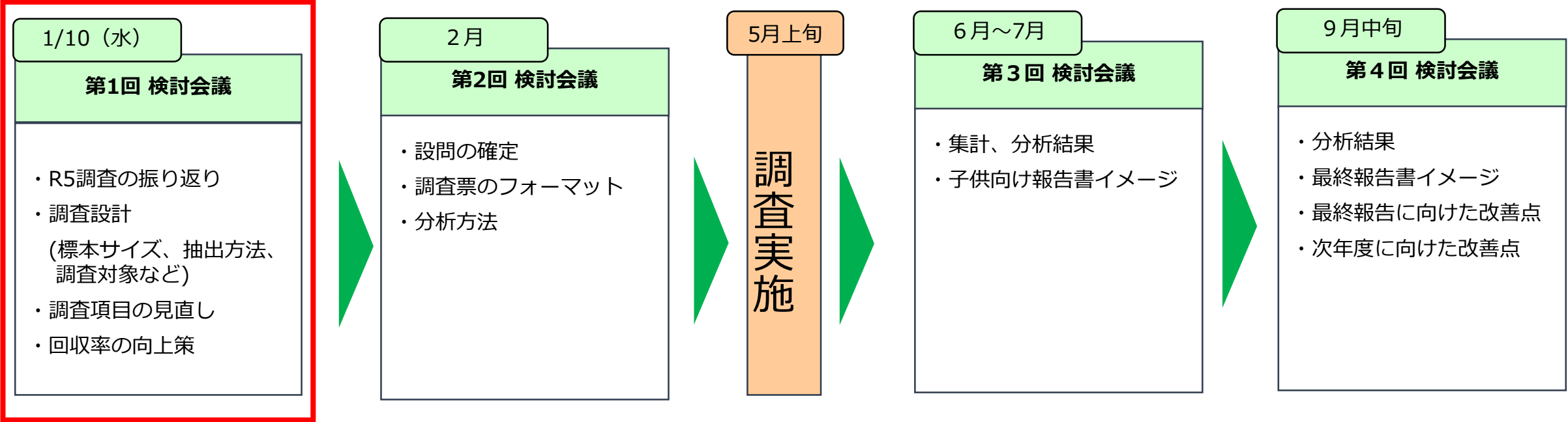
池本 美香 (株)日本総合研究所調査部上席主任研究員)
土屋 隆裕 (横浜市立大学 教授)
西田 淳志 ((公財)東京都医学総合研究所 社会健康医学研究センター長)
松原 康雄 (明治学院大学 名誉教授)
森田 明美 (東洋大学 名誉教授)
渡辺 由美子 (認定NPO法人キッズドア理事長)

(敬称略)

<内部委員>

小平 房代 (東京都 子供政策連携室 プロジェクト推進担当部長)
石賀 裕 (東京都 子供政策連携室 企画調整課長)
中島 知郎 (東京都 子供政策連携室 プロジェクト推進担当課長)

1. スケジュール等(会議のスケジュール(案))



<その他>

- ・ 7月末 中間報告
- ・ 8月末 子供向け報告書案に関する子供への意見聴取
- ・ 11月上旬 最終報告（プレス発表）

2. 令和5年「とうきょう こども アンケート」の振り返り

目的

子供の日頃感じている生の声を定期的に聴き取り、分析して、実効性の高い子供政策を推進するため、新たに「とうきょう こども アンケート ～みんなと考える「いま」と「みらい」～」を実施

概要

- ◆ 従来の行政分野の枠組みに捉われることなく、**子供に関する実態や意識の変化**に関する分野を調査
- ◆ 調査結果を**多角的に分析**し、**課題や行政ニーズ**を明らかにした上で、**各局に共有**し、政策に反映
- ◆ **継続的に調査を実施**し、**データの蓄積**及び**経年分析**を行っていく

対象

3歳児	小学3年生	小学5年生	中学2年生	17歳
—	本人	本人	本人	本人
保護者	保護者	保護者	保護者	保護者

7,500世帯
(1,500世帯×5区分)

調査方法

- ・調査地域：東京都全域
- ・標本サイズ：7,500世帯（計13,500人）
- ・抽出方法：住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法
- ・地点数：各学年200
- ・調査方法：郵送法（郵送配布・郵送回収、WEB（インターネット）回答併用）
- ・調査時期：令和5年5月18日（木）から令和5年6月6日（火）まで

回収率

38.8%

2. 令和5年「とうきょう こども アンケート」の振り返り

「とうきょう こども アンケート」

報告書

令和5年 11 月

東京都子供政策連携室

2. 主な調査結果

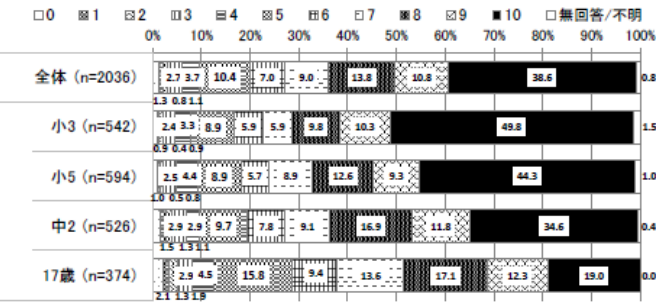
(1) 子供が日頃感じていること

○幸福度【子供】（P 95）

自分は幸せかについて、「0」（まったくあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）の11段階で、「10」と回答した割合が約4割。

- ・「10」（とてもあてはまる）が38.6％と最も高い。平均値は7.82である。
- ・いずれの学年においても、「10」（とてもあてはまる）が最も高く、小3では49.8％、小5では44.3％であるが、中2では34.6％、17歳では19.0％であり、小3は17歳より30.8ポイント高い。

図表 1-54. B 今の自分は幸せだ <単一回答>

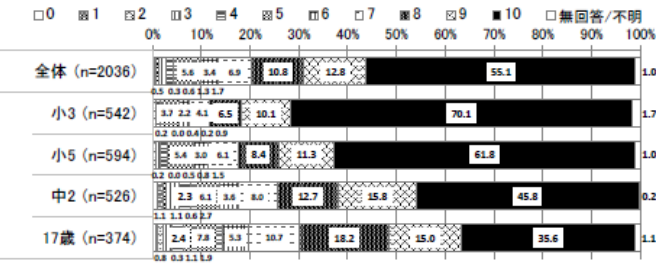


○家族との関係【子供】（P 125）

家族との関係が良好かについて、「0」（まったくあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）の11段階で、「10」と回答した割合が5割以上。

- ・「10」（とてもあてはまる）が55.1％と最も高い。平均値は8.70である。
- ・小3では70.1％であるが、小5では61.8％、中2では45.8％、17歳では35.6％であり、小3は17歳より34.5ポイント高い。

図表 1-84. B 家族との関係は良好である <単一回答>



（子供：共通）問 28. あなたは次のことがどれくらいあてはまりますか。それぞれひとつに○を付けてください。
（B 今の自分は幸せだ）

※上記の設問を、【子供の幸福度別】の集計軸としているため、【子供の幸福度別】は除いている。

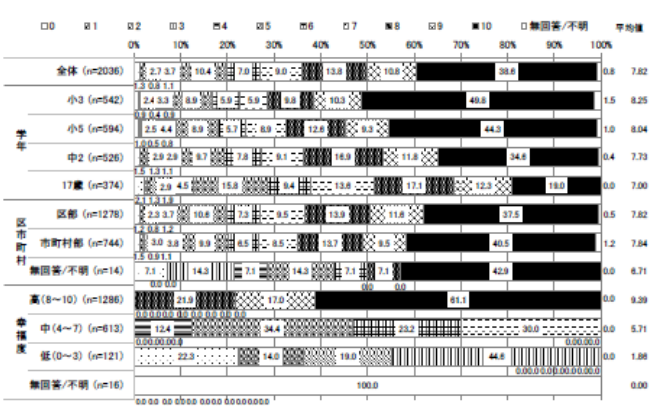
【全体】

「10」（とてもあてはまる）が38.6％と最も高い。平均値は7.82である。

【学年別】

いずれも、「10」（とてもあてはまる）が最も高く、小3では49.8％、小5では44.3％であるが、中2では34.6％、17歳では19.0％である。平均値は、小3では8.25、小5では8.04、中2では7.73、17歳では7.00である。

図表 1-54. B 今の自分は幸せだ <単一回答>



※「10」（とてもあてはまる）～「0」（まったくあてはまらない）

3. R6調査設計【調査対象及び標本サイズ】(案)

■調査地域
東京全域

■調査対象

3歳児	小学3年生	小学5年生	中学2年生	17歳
—	本人	本人	本人	本人
保護者	保護者	保護者	保護者	保護者

■標本サイズ

- ・前回調査の回収率を踏まえ、今回の目標回収数である「800サンプル」を確保できるよう配布数を増加
- ・回収率が低かった17歳(24.9%)に対しては厚く配布

区分	3歳児 保護者	小3		小5		中2		17歳		合計
		子供	保護者	子供	保護者	子供	保護者	子供	保護者	
発送数 【枚】	1,400 (1,500)	2,050 (1,500)		1,900 (1,500)		2,150 (1,500)		2,900 (1,500)		10,400 (7,500)
回収率見込 【%】	57.1 (54.4)	39.0	43.9	42.1	47.4	37.2	41.9	27.6	34.5	39.7 (38.8)
		(36.2)	(42.7)	(39.6)	(44.6)	(35.1)	(40.2)	(24.9)	(31.8)	

※カッコ内はR5調査の実績

3. R6調査設計【調査方法及び目標回収サンプル数】(案)

■調査方法

- ・郵送法（郵送配布・郵送回収、WEB（インターネット）回答併用）
- ・保護者用と子供用の調査票、各家庭 1 セットを一つの封筒で送付
- ・送付時のあて名は、子供の名前を明記（対象者を明確にするため）
- ・返信用封筒は保護者用と子供用で別々とする
- ・調査票にNo.をふり、親子関係を把握

(参考) R 5 手法別回収率

	子ども（紙）	子ども（Web）	保護者（紙）	保護者（Web）
	回収率	回収率	回収率	回収率
計	59.7%	40.3%	51.1%	48.9%
3歳児			46.7%	53.3%
小学3年生	66.1%	33.9%	54.4%	45.6%
小学5年生	66.8%	33.2%	55.2%	44.8%
中学2年生	57.8%	42.2%	52.1%	47.9%
17歳	42.0%	58.0%	47.2%	52.8%

■抽出方法

- ・層化二段無作為抽出法
- ・層（エリア）は以下のとおり

（区部）

【センター・コア・エリア】：千代田・中央・港・新宿・文京・台東・墨田・江東・渋谷・豊島・荒川

【区部東部・北部エリア】：北・板橋・足立・葛飾・江戸川

【区部西部・南部エリア】：品川・目黒・大田・世田谷・中野・杉並・練馬

（市町村部）

【多摩東部エリア】：武蔵野・三鷹・調布・小金井・小平・東村山・国分寺・狛江・清瀬・東久留米・西東京

【多摩中央部北エリア】：立川・昭島・福生・東大和・武蔵村山・羽村・瑞穂

【多摩中央部南エリア】：八王子・府中・町田・日野・国立・多摩・稲城

【多摩西部エリア・島しょ】：青梅・あきる野・日の出・檜原・奥多摩・大島・利島・新島・神津島・三宅・御蔵島・八丈・青ヶ島・小笠原

4. R6調査項目(案)

■ 基本的な考え方

・設問は以下の8つの調査分野を基に設定

※以下は、R 5 調査項目の設問

① 子供自身に関する分野

- ・今の自分は幸せか
- ・今の自分が好きか
- ・家族との関係は良好か
- ・今悩んでいることはあるか など

② 子供の安全安心に関する分野

- ・住む地域で危険な目にあったことはあるか など

③ 子供の遊び場・居場所に関する分野

- ・普段、何をして遊んでいるか
- ・居場所(ほっとできる場所、安心できる場所)はどれか
- ・東京が好きか
- ・大人たちが子供の話をきちんと聞いてくれるか など

④ 子供の学び・成長に関する分野

- ・社会課題について関心があるか
- ・20年後にどういったことを叶えたいか
- ・学ぶことが楽しいか など

⑤ 子育て家庭支援に関する分野

- ・住む地域は子育てに良い場所か(保護者)
- ・子育てに関する情報をどこから得ているか(保護者)
- ・子育ての相談相手の不足に悩んでいるか(保護者) など

⑥ 子供の意見表明、参加、権利擁護に関する分野

- ・自分の意見を他の人にしっかり言える
- ・困ったり悩んだりしたとき、相談できる人はいるか
- ・東京都子ども基本条例について知っているか など

⑦ 社会的情勢の変化に応じた分野

- ・勉強に関して、新しい生活様式は良い影響をもたらしたか など

⑧ 分析にあたって必要となる基本情報等

- ・スマートフォンが自由に使えるか
- ・家庭内での「家事・育児」の分担はどのようになっているか(保護者) など

4. R6調査項目(案)

■ 基本的な見直しの考え方

- ・ 定点調査であるが故、大枠は前回項目を踏襲
- ・ 一方で、前回結果を踏まえ、以下の観点で見直し
 - (1)追加（更に回答を掘り下げる設問、社会情勢の変化を踏まえた設問 など）
 - (2)変更（誤回答を避けるための表現変更、記述式から選択式への変更 など）
 - (3)削除（回答に大きな偏りがあるもの、他設問と重複するなど設問の精査 など）
- ・ なお、各学年の設問数については前回は上限

（参考）R5 調査設問数

区分	子供	保護者
3 歳児	-	47問
小学 3 年生	37問	53問
小学 5 年生	37問	53問
中学 2 年生	42問	53問
17歳	45問	55問

4. R6調査項目(案)

(1)追加

<子供> + 5 問

R5No	対象	質問内容（抜粋）	追加の理由等
22	全	学校への不満の理由 →「勉強が苦手」「友人関係に悩み」など	政策反映に活用するため
32	全	「保護者は私の話を聞いてくれる」が「あてはまらない」の理由 →「親と仲が悪い」「ちゃんと聞いてくれない」など	政策反映に活用するため
37	全	インターネット上で経験したトラブル →「暴言」「仲間外れ」「お金の請求」など	政策反映に活用するため
新	全	生成AIについて使用しているか →「よく使用している」「使用したいと思わない」など	社会情勢を踏まえた設問
新	全	性的多様性についてどのように考えるか →「服装や髪型などは性別に関わらず自由であってよい」など	社会情勢を踏まえた設問

<保護者> + 2 問

R5No	対象	質問内容（抜粋）	追加の理由
13	全	（家事・育児の分担割を問う設問の後） 今の家事/育児分担に満足しているか	分担について納得しているかどうか重要であるため
22	全	お子様をどこ（誰）に預けたいと思ったか →「保育施設」「学校施設」「医療機関」など	預けたいと思った先を把握するため

4. R6調査項目(案)

(2)変更 <子供①>

R5 No	対象	変更前	変更後	変更の理由等
—	全	どれかひとつに○を付けてください	(1つだけ) (いくつでも)	文字量の削減
—	全	—	●.ない	排他選択肢を追加
1	全	あなたの性別は何ですか。 3 その他、どちらでもない	3 その他 (どちらともいえない・わからない・答えたくない)	内閣府調査と表現を合わせるため
3	全	A 子供が遊べる場所や気持ちよく過ごせる場所がたくさんある など	A あなたが遊べる場所や気持ちよく過ごせる場所がたくさんある など	より主観的な回答になるように表現変更
6	全	あなたは普段何をして遊びますか。	あなたは普段、放課後や休みの日に何をして遊びますか。	「学校外」での遊びであることを明確にするため
7	全	あなたは週に何日くらい、30分以上外で遊んだり体を動かしたりする日がありますか(学校の授業を除く)。部活動と部活動以外で、それぞれ...	あなたは週に何日くらい、30分以上外で遊んだり体を動かしたりする日がありますか(学校の授業を除く)。	部活動は自主的な活動であることから、部活動と部活動以外を分けないため
10	全	あなたは東京が好きですか。理由(自由記述)	「好きor好きではない」理由を選択肢化して追加 →「交通の便」「施設(公共施設など)の数」「自然・公園の量」「街並み」など	分析しやすくするため (好きor好きではない理由で+1問)
17	全	あなたは将来、いつから社会に出て働こう(学校に所属しながらのアルバイトを除く)と考えていますか。	あなたは将来、いつから社会に出て働こうと考えていますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。	読みやすくするため
18	全	自分の描く将来像や進路に関して、難しくしている問題があるとすればそれはどんなことですか。 5 自分の学力不足 6 自分の努力不足	自分の描く将来像や進路に関して、問題があるとすればそれはどんなことですか。 5 自分の努力不足	・読みやすくするため表現を簡素化 ・「努力不足」と「学力不足」の違いが分かりにくいいため統合

4. R6調査項目(案)

(2)変更

<子供②>

R5 No	対象	変更前	変更後	変更の理由等
20	中2 17歳	学習や進路に関して、自治体などに充実させて欲しいことはありますか。	学習や進路に関して、どのようなサポートがあればよいと思いますか。 →「学び直しの場合」「経済的な支援」「勉強の場合」等	より政策に結び付く選択肢に変更
21	17歳	あなたは学校に所属していますか。 1 はい () 年生 2 いいえ	学年は削除し、就労の有無もあわせて問う設問にする あなたは学校に所属していますか。 1 学校に所属している 2 就職している 3 その他	・学年はほぼ「2年生」の回答のため ・本問に選択肢追加し「働いているか」の設問を削除
27	全	あなたの学校や職場(学校に所属しながらのアルバイトを除く)は、次のことがどれくらいあてはまりますか。 A 自分にとって居心地が良い	あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。	・読みやすくするため ・就労者が少ないため区別しない
29	全	A みんながやっても悪いことは悪いと言える B 他人に迷惑をかけなければ、なにをしようと個人の自由だ E みんながやっていることは、自分もやった方が良く感じる	(選択肢A、B、Eを削除) A 自分の考えをしっかりと持つことは大事だ B 自分の考えを他の人にしっかりと伝える	倫理観の施策反映は難しいため、意見表明に関する選択肢のみとする (△3問)
30	中2 17歳	A 男の人と女の方は、家事を同じくらいするべきだと思う。 B ...育児を同じくらいするべきだと思う。 C ...仕事を同じくらいするべきだと思う。 D ...介護を同じくらいするべきだと思う。	次のそれぞれについてどう思いますか。1「主に男性が担うべき」2「主に女性が担うべき」3「男女で同じようにするべき」4「分からない」から選んでください。(それぞれ1つ) A 家事について B 育児について C 仕事について D 介護について	家庭によって「同じにするべき」とは一概に言えないため
31	全	以下のものについて、あなたの自宅にあるかどうか、また使えるかどうか教えてください G 携帯音楽プレーヤー H プリンター I 電子辞書	(選択肢G、H、Iを削除) A パソコン/B スマートフォン/C タブレット D インターネット接続 /E 家庭用ゲーム機 /F テレビ	経済事情に関わらず所持していない人が多いと思われるため

4. R6調査項目(案)

(2)変更 ＜子供③＞

R5 No	対象	変更前	変更後	追加の理由等
32	全	あなたの家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。 C 保護者は私の話を聞いて一緒に考えてくれる D 私の人生について、保護者と一緒に考えて決めている	C 保護者は私の話を聞いてくれる D 私の人生について、保護者と一緒に考えて決めている	CとDの違いを明確化
34	全	あなたにとっての居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）は次のうち、どれですか。 3 親戚の家 11コンビニ 12ファミレス・カフェ	3 祖父母・親戚の家 11 飲食店・商業施設	・自由記述に「祖父母宅」の回答あり ・類似の選択肢を統合
38	全	あなたが困ったり悩んだりしたとき、相談できる人は何人いますか。 1 0人 2 1人...	設問の順番を変更 問38 相談相手は誰か(「いない」を追加) 問39 相談できる人は何人か(「0人」を削除)	相談相手をイメージさせてから人数を回答させるため
40	全	あなたは平日、何時頃に起きて何時頃に寝ますか。 (自由記述)	選択式に修正	誤回答を防ぐため
41	全	次のことをしている時間は平日どのくらいありますか。 (自由記述)	選択式に修正	誤回答を防ぐため
44	全	子供の権利について、あなたはどのようなものか知っていますか。	あなたは、このアンケートが届くまでに、子供が権利の主体であることを知っていましたか。	・条例ハンドブックを同封するため ・行政計画の指標と連動させるため
45	全	あなたは「東京都子ども基本条例」について知っていますか。	あなたは、このアンケートが届くまでに、「東京都子ども基本条例」について知っていましたか。	条例ハンドブックを同封するため

4. R6調査項目(案)

(2)変更

<保護者①>

R5 No	対象	変更前	変更後	追加の理由等
14	全	ご家庭内に介護や援助が必要な人はいますか	身近に介護や援助が必要な人はいますか。	家庭内は同居前提になるため、居住の距離に関わらない表現とする
15	全	G 勉強、仕事、趣味など、何か夢中になれることがある	(選択肢Gを削除) A 毎日たくさん笑っている/B 今の自分は幸せだ C 今の自分の生活に満足している/D 今の自分が好きだ E 人生を楽しんでいる/F 他人から必要とされている H 自分には夢や目標がある/I 子育てを楽しんでいる J 子育ては概ねうまくいっていると感じている	保護者の認識を問う必要性が低いため <u>(△1問)</u>
17	全	あなたは次のことがどのくらいあてはまりますか。 A「時間的なゆとり」を感じられる	あなた自身は以下の「ゆとり」を感じられていますか。 A 時間的なゆとり	読みやすくするため表現を簡素化
18	全	あなたが今、子育てに関して楽しいと感じていることを記入してください。	選択式に変更 (楽しいことは何か・大変なことは何か) →「子供の成長を感じられる」 など 「子供との関わり方が分からない」 など	分析を行いやすくするため <u>(+1問)</u>
21	全	あなたが困ったり悩んだりしたとき、相談できる人は何人いますか。 () 人	設問の順番を変更 問21 相談相手は誰か(「いない」を追加) 問22 相談できる人は何人か (選択式に)	相談相手をイメージさせてから人数を回答させるため
22	全	お子様を人や施設に預けたいと思ったにもかかわらず、預けられなかったことがありましたか	あなたが、直近1年間の普段の生活で、お子様を一人にしなければならない時など、お子様を最もどこに預けたいと思いましたか (選択式) →「保育施設」「学校施設」「医療機関」 など	預けたいと思った先が分かるよう質問を変更

4. R6調査項目(案)

(2)変更

<保護者②>

R5 No	対象	変更前	変更後	追加の理由等
26	全	お子様についてあてはまるもの全てに○を付けてください。 1 お子様 は医療、メンタルヘルス、教育に関する支援を、同年齢の他のお子様より多く必要と...	この中から、お子様についてあてはまるものをお選びください。 1 医療、メンタルヘルス、教育に関する支援を、同年齢の他のお子様より多く必要としたり...	読みやすくするため表現を簡素化
35	全	あなたの住む地域について、次のことがどのくらいあてはまりますか。 A あなたの住む地域は 、子育てに良い場所である	あなたの住む地域について、次のことがどのくらいあてはまりますか。 A 子育てに良い場所である	読みやすくするため表現を簡素化
36	全	あなたの住む地域にあなたの友達や家族は住んでいますか 2 家族が住んでいる	あなたの住む地域にあなたの友達や家族は住んでいますか 2 親族 が住んでいる	おじ、おばも含め広く「親族」に含める
38	全	あなた自身が平日、何時頃に起きて何時頃に寝ますか。（自由記述）	選択式 に修正	誤回答を防ぐため
39	全	次のことをしている(ネット・テレビの視聴)時間は平日どのくらいありますか。（自由記述）	選択式 に修正	誤回答を防ぐため
42	全	お子様と一緒にいきたい場所や、お子様にさせたい体験について次のことがあてはまりますか 1「お子様と既に行った/体験させている」 2「お子様と今後いきたい/体験させたい」	(1) あなたが、これまでにお子様と一緒にいたり、体験させたりしたことは何ですか (2) それでは、今後、お子様と一緒にいきたい場所や体験させたいことは何ですか	設問文を分割してより分かりやすくする
46	全	お子様の将来の夢や進路に関して 難しくしている 問題があるとすれば、それはどんなことだと考えていますか	お子様の将来の夢や進路に関して、問題があるとすればそれはどんなことだと考えていますか	読みやすくするため表現を簡素化

4. R6調査項目(案)

(2)変更

<保護者③>

R5 No	対象	変更前	変更後	追加の理由等
50	全	子供の権利について、あなたはどのようなものか知っていますか。	あなたは、このアンケートが届くまでに、子供が権利の主体であることを知っていましたか。	・ 条例ハンドブックを同封するため ・ 行政計画の指標と連動させるため
51	全	あなたは「東京都こども基本条例」について知っていますか。	あなたは、このアンケートが届くまでに、「東京都こども基本条例」について知っていましたか。	条例ハンドブックを同封するため

4. R6調査項目(案)

(3)削除

<子供用> △6問

設問	対象	質問内容（抜粋）	削除の理由等
4	全	あなたには安心して遊べる場所がありますか。	遊ぶ場所の設問に排他選択肢を追加したため
19	全	学習や進路に関し、家族や学校、塾以外の支援を利用しているか。	政策反映に活かす類似の別問(問20)があるため
25	17歳	あなたは働いていますか（アルバイトを除く）	・ R5調査で3%未満(10人程度)と非常に少ないため ・ 学校への所属に関する設問に「就職している」の選択肢追加
26	17歳	あなたは職場が好きですか（25の「はい」対象）	同上
42	全	障害や治療が長期に及ぶ病気があるか	幸福度との関係性が低いと思われるため
43	全	（新型コロナに関する質問）	社会情勢を踏まえ削除

<保護者用①> △11問

R5No	対象	質問内容（抜粋）	削除の理由等
24	全	お子様の性別について教えてください	保護者の認識を問う必要性が低いため
25	全	お子様に障害あるいは治療が長期及ぶ病気があるか	幸福度との関係性が低いと思われるため
28	17歳	現在、お子様は就労していますか	保護者の認識を問う必要性が低いため

4. R6調査項目(案)

(3)削除

<保護者用②>

R5No	対象	質問内容（抜粋）	削除の理由等
29	17歳	現在、お子様は学校に所属していますか	保護者の認識を問う必要性が低いため
30	小3,小5, 中2,17歳	お子様は学校が好きですか	保護者の認識を問う必要性が低いため
31	小3,小5, 中2,17歳	お子様は学校が嫌いで休むことはありますか	保護者の認識を問う必要性が低いため
32	小3,小5, 中2,17歳	お子様が学校に行かないで休む日はどのくらいありますか	保護者の認識を問う必要性が低いため
37	全	お子様は次のような危険な目にあったことはありますか 1 車やバイクにぶつかりそうになった/ぶつかった	保護者の認識を問う必要性が低いため
49	全	（新型コロナに関する質問）	社会情勢を踏まえ削除
53	全	お子様との関係であてはまるものはどれか	・ 実両親以外の回答が非常に少ない(10人程度) ・ 幸福度との関係性が低いと思われるため
55	全	(保護者が)パートナーと同居していない理由はどれか	幸福度との関係性が低いと思われるため

5. 回収率向上の取組

■封筒(案)

- ・保護者の干渉を排除するため、子供の返信用封筒と保護者の返信用封筒を色で明確に分け、子供が自分で封筒に入れ、シールで厳封できるようにする
- ・封筒を開けてもらうために、東京都の文字とロゴマークを明記し、信頼度を向上
- ・子供政策連携室の取組のアイコンを記載することで、親しみやすくする
- ・高校生はネット回答率多かったため、封筒自体にもQRコードをつけて、ネット回答に誘導
- ・「あなたの意見を求めています」などの呼びかけや、調査の意義や成果などを、直接封筒に書いてPR

■同封物(案)

- ・ボールペンを同封し、回答を促す
- ・回答することで東京都が何をしてくれるのかなど、回答の意義が分かるメッセージや条例ハンドブックを調査票に同封
- ・自分たちの回答がどうなるのかを示すため、今回の調査結果を次回調査に同封

■謝礼(案)

- ・回答者に500円程度の図書カード等を送付

■その他(案)

- ・高校生は配布数自体を増やす
- ・学校への出前授業の場を通じて、子供に回答率を上げる方策などについて意見を聴取